



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 協栄産業株式会社

コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 水谷 廣司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 市河 明 TEL 03-3481-2111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	28,011	△7.3	55	△80.7	44	△81.0	△26	—
27年3月期第2四半期	30,228	5.8	287	475.7	233	416.1	135	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △361百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 562百万円 (94.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△0.86	—
27年3月期第2四半期	4.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	36,162	14,677	40.6
27年3月期	36,608	15,100	41.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 14,677百万円 27年3月期 15,100百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
28年3月期	—	2.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	△8.6	250	△51.4	200	△48.0	50	△72.7	1.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	31,935,458株	27年3月期	31,935,458株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,440,555株	27年3月期	1,436,957株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	30,496,550株	27年3月期2Q	30,503,499株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(2) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日本銀行による各種経済・金融政策を背景に設備投資の増加に加え、企業収益や雇用・所得環境も改善傾向を維持する等、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、天候不順や円安進行による物価上昇が影響し、個人消費の改善には鈍さが見られ、海外においては米国をはじめ先進国経済は全体として緩やかな回復傾向にありますが、中国では投資が一段と鈍化し景気減速が鮮明となり、その他新興国では総じて回復の動きが遅れると予想されるなど、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社（以下当社グループ）が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図るとともに、諸経費の削減など収益改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は280億1千1百万円、前年同期に比べて7.3%の減収、営業利益は5千5百万円、前年同期に比べて80.7%の減益、経常利益は4千4百万円、前年同期に比べて81.0%の減益、親会社株主に帰属する四半期純損失は2千6百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益1億3千5百万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

## (商事部門)

- ・売上高 216億6千4百万円（前年同期比8.8%減）
- ・営業利益 1億8千3百万円（前年同期比50.1%減）

商事部門においては、売上は低調に推移し、利益面も低調となりました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

## &lt;半導体デバイス事業&gt;

半導体分野では、自動車関連は北米以外は低調に推移し、白物家電関連に関しては堅調に推移いたしました。また、産業機関連は低調に推移し、全体としては低調に推移いたしました。

電子デバイス分野では、スマートフォン関連は順調に推移いたしました。産業機関連は低調に推移し、全体としては堅調に推移いたしました。

## &lt;電子材料事業&gt;

コネクタ分野では、スマートフォン関連は低調に推移し、自動車関連に関しましても低調に推移し、全体としては、低調に推移いたしました。

半導体リードフレーム分野は、LED用は堅調に推移いたしました。全体としては低調に推移いたしました。

主要仕入れ先の会社清算公表の影響により、事業全体として低調に推移いたしました。

## &lt;FA・環境システム事業&gt;

産業メカトロニクス分野では、レーザ加工機関連は順調に推移いたしました。

FA機器分野では、自動車装置関連は堅調に推移いたしました。

環境ビジネス分野では、省エネ支援装置関連の商談は増加しましたが、第2四半期中の受注には至りませんでした。太陽光発電関連商談は、回復の兆しは出てきましたが、受注に至らず苦戦いたしました。

## &lt;その他&gt;

北海道と西日本地区を拠点とする協栄マリンテクノロジー株式会社が行う救命いかだの整備サービス事業は堅調に推移いたしました。

## (IT部門)

- ・売上高 28億2千9百万円（前年同期比7.5%増）
- ・営業利益 3億6千8百万円（前年同期比4.8%増）

IT部門においては、全般に堅調に推移いたしました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

## &lt;ビジネスソリューション事業&gt;

ビジネスソリューション事業は、エンドユーザー向けシステム開発を中心に受注が堅調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、電力関連向けを中心に堅調に推移いたしました。

<エンベデッドシステム事業>

エンベデッドシステム事業は、専用装置システム開発がやや低調となりましたが、公共業務関連の受託開発は堅調に推移したため、全体として堅調になりました。

<IC設計事業>

IC設計事業は、システム開発の受注により堅調に推移いたしました。

(製造部門)

- ・売上高 35億7千5百万円 (前年同期比7.7%減)
- ・営業利益 9千3百万円 (前年同期比58.8%減)

製造部門においては、売上は堅調に推移いたしましたが、利益面では低調となりました。

<プリント配線板事業>

アミューズメント向け一般基板は堅調に推移いたしました。

特殊技術を活用した精密機器及びOA機器向けモジュール基板及び車載向け基板は、堅調に推移いたしました。

利益面では国内市場縮小に伴う価格競争により低調に推移いたしました。

海外で行っているフレキシブル基板ビジネスは好調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億4千5百万円減少し、361億6千2百万円となりました。

- ・流動資産は、現金及び預金6億8千2百万円の減少、電子記録債権5億3千4百万円の増加等により、9千9百万円減少し、284億3千万円となりました。
- ・固定資産は、投資有価証券5億8千9百万円の減少等により、3億4千6百万円減少し、77億3千2百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金7億7千3百万円の減少等により、7億4千8百万円減少し、152億3千万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金9億9千万円の増加等により、7億2千5百万円増加し、62億5千4百万円となりました。

この結果、純資産は、4億2千2百万円減少し、146億7千7百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の41.2%から0.6ポイント減少し、40.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて6億8千2百万円減少し、29億9千8百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は14億3千万円となりました。これは主として次の要因によるものです。

資金増加要因：	減価償却費	2億3千9百万円
資金減少要因：	売上債権の増加	1億5千5百万円
	たな卸資産の増加	4億5千2百万円
	仕入債務の減少	7億8千4百万円

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は3億5百万円となりました。これは主として固定資産の取得等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は10億4千8百万円となりました。これは主として借入れによる収入等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月13日公表の連結及び個別の業績予想を修正いたします。

詳細につきましては本日(平成27年10月28日)公表いたしました「第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(2) 追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成27年6月25日開催の第81回定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。これに伴い、当第2四半期連結累計期間において、当社の役員退職慰労引当金を全額取崩し、打切り支給額の未払分93,750千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

なお、一部の国内子会社については、引き続き、役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく要支給額を「役員退職慰労引当金」に計上しておりますが、金額的重要性が乏しいため、同様に固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、当第2四半期連結累計期間より連結納税制度を適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,820,884	4,138,434
受取手形及び売掛金	15,637,705	15,265,890
電子記録債権	699,822	1,234,065
商品及び製品	6,259,784	6,712,018
仕掛品	676,293	669,732
原材料及び貯蔵品	156,206	164,049
繰延税金資産	87,435	34,791
その他	195,944	215,134
貸倒引当金	△4,037	△4,032
流動資産合計	28,530,038	28,430,084
固定資産		
有形固定資産	2,742,119	2,879,254
無形固定資産	428,481	530,924
投資その他の資産		
投資有価証券	3,604,079	3,014,670
退職給付に係る資産	529,295	550,718
その他	863,917	843,103
貸倒引当金	△89,189	△86,001
投資その他の資産合計	4,908,102	4,322,491
固定資産合計	8,078,703	7,732,670
資産合計	36,608,741	36,162,754
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,528,501	9,754,505
短期借入金	2,448,878	2,380,234
1年内返済予定の長期借入金	1,370,000	1,670,000
未払法人税等	63,782	17,025
賞与引当金	366,619	305,539
その他	1,201,304	1,103,408
流動負債合計	15,979,085	15,230,713
固定負債		
長期借入金	3,880,000	4,870,000
繰延税金負債	877,116	722,583
その他	771,983	661,688
固定負債合計	5,529,099	6,254,272
負債合計	21,508,185	21,484,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,235	3,120,235
利益剰余金	7,211,340	7,124,158
自己株式	△419,263	△419,984
株主資本合計	13,074,131	12,986,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,466,161	1,139,429
為替換算調整勘定	351,502	352,604
退職給付に係る調整累計額	208,760	199,505
その他の包括利益累計額合計	2,026,424	1,691,539
純資産合計	15,100,555	14,677,768
負債純資産合計	36,608,741	36,162,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	30,228,001	28,011,290
売上原価	26,611,065	24,796,475
売上総利益	3,616,936	3,214,814
販売費及び一般管理費	3,329,824	3,159,387
営業利益	287,112	55,427
営業外収益		
受取利息	731	643
受取配当金	31,815	42,222
為替差益	—	1,301
その他	34,934	36,356
営業外収益合計	67,481	80,524
営業外費用		
支払利息	67,013	60,213
為替差損	17,743	—
債権売却損	12,737	7,472
その他	23,168	23,912
営業外費用合計	120,663	91,598
経常利益	233,931	44,353
特別利益		
固定資産売却益	2,551	2,142
投資有価証券売却益	25,060	24,791
特別利益合計	27,612	26,934
特別損失		
固定資産除却損	10,398	13,756
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	502	—
特別損失合計	10,900	13,756
税金等調整前四半期純利益	250,643	57,531
法人税、住民税及び事業税	55,113	22,683
法人税等調整額	60,250	61,033
法人税等合計	115,364	83,716
四半期純利益又は四半期純損失(△)	135,278	△26,185
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	135,278	△26,185

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	135,278	△26,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	350,503	△326,731
為替換算調整勘定	77,738	1,101
退職給付に係る調整額	△562	△9,254
その他の包括利益合計	427,679	△334,884
四半期包括利益	562,958	△361,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562,958	△361,069

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	250,643	57,531
減価償却費	246,299	239,435
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△742	△3,192
賞与引当金の増減額 (△は減少)	62,125	△61,060
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△294,824	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△172,709	△21,422
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△120,625	△97,125
受取利息及び受取配当金	△32,547	△42,865
支払利息	67,013	60,213
投資有価証券売却損益 (△は益)	△25,060	△24,791
固定資産除却損	10,398	13,756
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,551	△2,142
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,459,748	△155,870
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△562,523	△452,773
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,150,650	△784,791
未収消費税等の増減額 (△は増加)	11,111	△10,687
未払消費税等の増減額 (△は減少)	100,799	△151,569
その他	424,846	110,506
小計	△347,445	△1,326,850
利息及び配当金の受取額	32,547	42,865
利息の支払額	△67,039	△60,223
法人税等の支払額	△98,782	△86,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	△480,720	△1,430,457
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	63,460	134,881
投資有価証券の取得による支出	△4,597	△5,568
有形固定資産の売却による収入	2,551	2,142
有形固定資産の取得による支出	△127,532	△291,771
無形固定資産の取得による支出	△98,806	△145,405
貸付金の回収による収入	1,152	576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163,772	△305,145
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	7,749,584	6,637,799
短期借入金の返済による支出	△7,987,482	△6,709,617
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△710,000	△710,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△119,897	△108,312
自己株式の取得による支出	△684	△721
配当金の支払額	△61,010	△60,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,129,490	1,048,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,907	5,002
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,778,891	△682,449
現金及び現金同等物の期首残高	5,082,477	3,680,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,303,585	2,998,434

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	23,745,921	2,611,543	3,870,537	30,228,001
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,293	20,132	2,128	29,554
計	23,753,214	2,631,676	3,872,666	30,257,556
セグメント利益	367,343	351,138	226,445	944,927

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	944,927
全社費用(注)	△657,814
四半期連結損益計算書の営業利益	287,112

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	IT部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	21,626,784	2,809,770	3,574,736	28,011,290
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	37,637	19,406	1,126	58,169
計	21,664,421	2,829,176	3,575,862	28,069,460
セグメント利益	183,252	368,119	93,286	644,657

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	644,657
全社費用(注)	△589,229
四半期連結損益計算書の営業利益	55,427

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。